

# 東京農業大学稲花小学校

学校だより【2024年3月18日】第201号



## お団子作り・お豆腐作り

3月7日(木), 2年生の稲花タイムでは, 東京農業大学食品加工センターの野口智弘教授からお団子作りを学びました。

毎年, 2年生では農大稲花小の子どもたちらしく米にこだわり, 米粉や米粉を使ったお団子作りについて学習しています。3月7日(木)の授業ではお団子作りの動画を見ながら, 作り方の注意点を教えていただきました。さらに, 子どもたちが小麦粉と米粉の違いを体験できるように, 実際に2種類の粉をご用意いただき, 子どもたちはそれぞれに触ってその違いを体感していました。

そして最後に, 野口先生からいただいた特製の団子の粉を持ち帰り, 春休みの家庭実習としてお団子作りをすることになりました。おいしいお団子作りのレポートは春休み明けに提出となっています。子どもたちが保護者の皆様に, 米粉やお団子について学んだことを上手に伝えるとともに, ご家族そろって楽しくお団子作りができることを期待しています。

翌3月8日(金)は, 3年生が稲花タイムで同じく野口先生から, 豆腐作りを学びました。3年生は国語の学習で大豆のことを学んでおり, 畑ではエダマメを栽培し, 稲花タイムのキックマンしょうゆ塾でも大豆からしょうゆができるまでを学びました。一連の大豆シリーズの最後を飾る実践として豆腐作りに挑戦するのです。

大豆について, そして豆腐についてのクイズを交えながら, 豆乳ににがりを加えるとなぜ固まるのか?というお話しになりました。こちらスタッフの先生に別室で温めいただいた豆乳に2種類の液体を入れて, その変化を観察しました。子どもたちには液体が何かを教えず, 結果を考えさせるのです。実は一つはにがり, もう一つは塩水だったのですが, 先に全てを教えるのではなく, 自分たちの実験した結果から何がわかるかをみんなで確かめることを大切に授業でした。また, 豆乳が固まるためには, にがりの成分である酸化マグネシウムが関係するらしいという話から, 塩化ナトリウムの話にもなり, 中学で習う元素記号の意味も取り上げる進んだ内容となりました。しかし, 子どもたちは難しいなどとひるむことなく, 目の前の実験に興味を持ち, その過程を楽しみながらより専門的に学ぶことができました。これが大学の先生による授業の効果でもあるでしょう。

3年生も学校から豆腐作りセット(容器, さらし布, にがり)を配布されましたので, 春休みに家庭で豆腐作りに挑戦します。保護者様と一緒に作った豆腐のレポートは, 形式・枚数とも自由です。校長も, 新年度に読むのを楽しみにしています。

各学年での体験学習が, 次の学年での学びにも繋がっていきます。また, 学校での学びを, 家庭でも発展させることも, 体験を学力として定着させることに役立ちます。子どもたちだけでなく, 保護者の皆様にも一緒に学び楽しんでいただくのも, 本校らしいところといえるでしょう。

## 農大和牛

3月8日(金), 校長は東京農業大学で開催された「農大和牛」お披露目の会に参加しました。農大和牛は黒毛和種を母親に, 熊本の褐毛和種を父親にして作られた受精卵(胚)に由来しており, 本校

3年生の子どもたちも訪問する東京農業大学富士農場で育成されました。消費者の健康志向、牛にも優しい牛の健康体の維持、地域活性化、地域の牧草などを使用する地球環境への配慮などを意識しつつ、肉質のよい新しいタイプの和牛生産を目指すチーム東京農大による研究プロジェクトなのです。当日は、肉の部位別に、レストランKIYACHI 創業者の熊谷喜八様によるお料理で試食しました。

お肉・お料理のおいしかったことは言うまでもなく、農大和牛の今後に大きな期待をもちました。しかし、それだけでなく、東京農大でこのように広い視野で和牛の研究をしているということ、ぜひとも農大稲花小の子どもたちにも伝えられたらと強く感じたひと時でした。東京農大には稲花小の子どもたちの興味・関心を広げ深める材料がまだまだたくさんあることを実感したひと時でもありました。

### だるまさんがころんだ

「だるまさんがころんだ」という遊びをご存知のことと思います。3月13日(水)の中休み、5年生が組織する運動委員会が発案しての「全校だるまさんがころんだ」が行われました。自由参加ということでしたが、中休みの参加者はなんと200人近くなりました。こんなにたくさん子どもたちが集まり、そして教員も加わっての「全校だるまさんがころんだ」です。2019年4月にスタートした農大稲花小ですが、中々見ることでできない素敵な光景となりました。運動委員会の子どもたちにも、成し遂げた喜びがあったことでしょう。参加した子どもたちも、また！と思ったに違いありません。

### 修了式

3月18日(月)は農大稲花小の修了式の日でした。各学年の全課程を無事に修めた子どもたちが、成績表みのりを持って、帰宅していきました。この一年間、本校をご信頼いただき、お子様の心身を整え、毎朝学校に送り出してくださいました保護者の皆様に、感謝申し上げます。温かいご家庭があってこそ、子どもたちは学校で落ち着いて学ぶことができます。保護者様と教員が一致してこそ、子どもたちは大人を信頼し、指導に従いながら、まっすぐに伸びていくことができると考えています。

保護者の皆様には、お子様についてご心配のことも様々にあったと存じます。学校は保護者様からのご相談に真摯にお応えし、解決に努めてきました。とくに、子どもたちの発達の度合いに合わせてではありませんが、子どもたち自身が課題を見つけ、自らを律したり、あるいは友だちと和解したりするなど、解決の道を探れるように指導を行ってまいりました。子どもたちの伸びる力を信頼してのことでもあります。保護者の皆様には学校の対応をご理解いただき、あるときは解決までに時間のかかる道筋を忍耐していただくこともございました。子どもたちのために、学校に寄り添っていただいた保護者の皆様にも御礼申し上げます。

新年度、すべての学年で新しい学級構成となり、新しい担任とともに新学年をスタートさせます。子どもたちにはこれまでに培った自分自身のよいところを大切に、また新しい環境では新しい自分の発見を楽しみに、新年度を迎えてほしいと願っています。

東京農業大学稲花小学校  
校長 夏秋 啓子